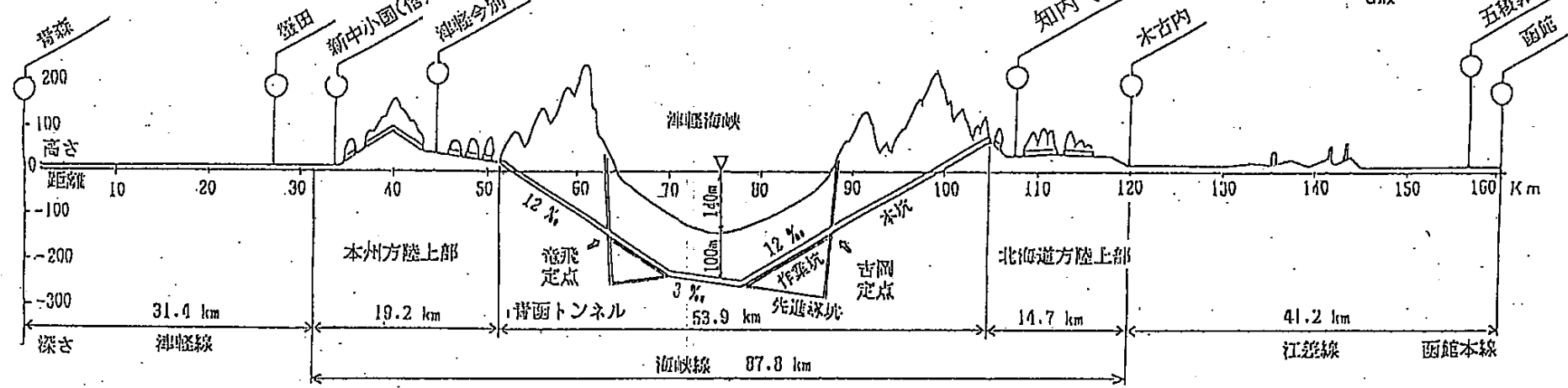
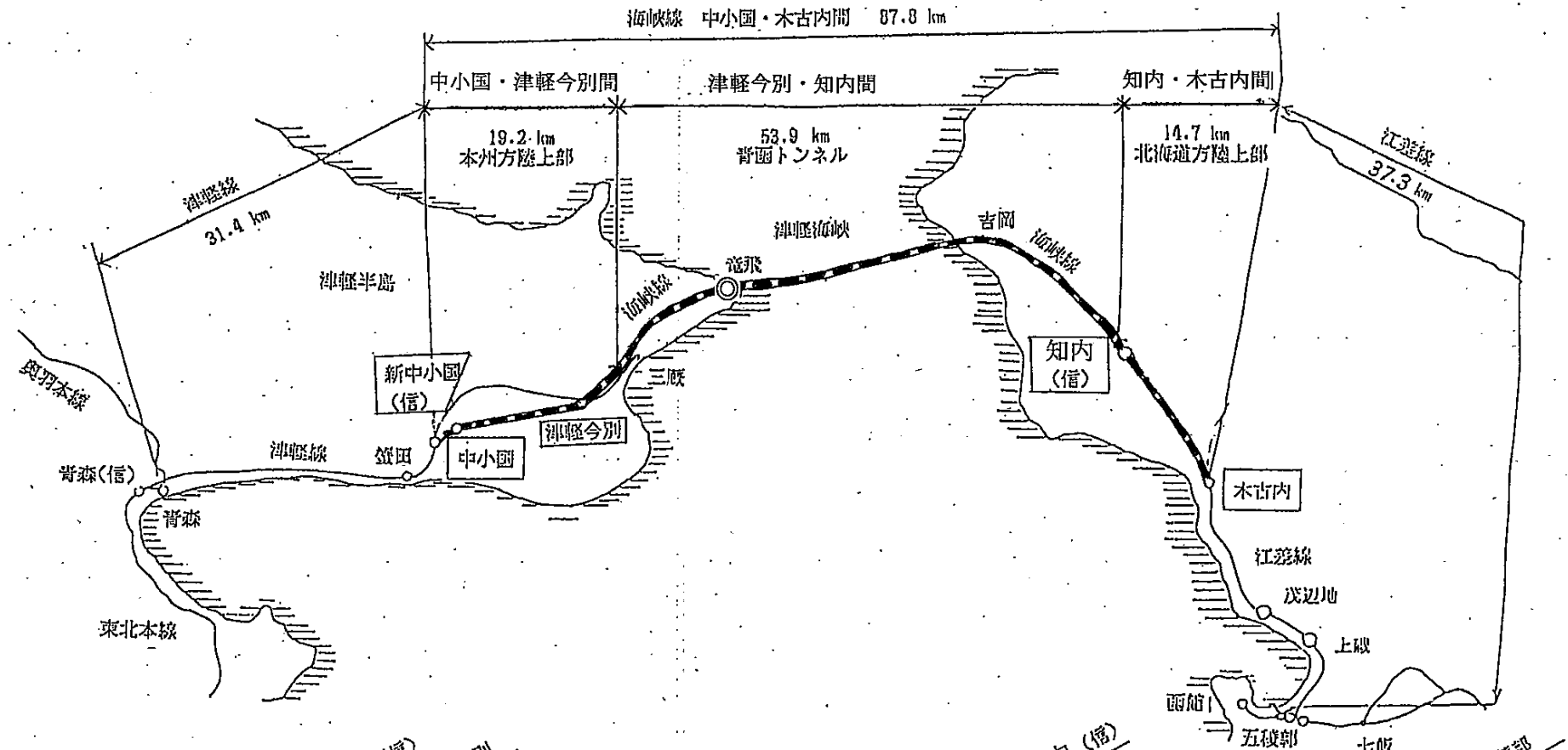


平成 27 年 4 月 4 日

特急スーパー白鳥 34 号車両から白煙が出た事象について

平成 27 年 4 月 3 日 17 時 15 分頃、津軽海峡線 知内信号場～津軽今別駅間において、函館 15 時 56 分発 新青森行き 特急スーパー白鳥 34 号において、車掌が窓から車外に火花が出ているのを確認し、停止手配を行いました。その後、車内に煙の発生を認めたため、ご利用のお客様には列車から線路上を歩いて竜飛定点まで移動して頂き、竜飛定点から地上部にある竜飛記念館までケーブルカーを利用して避難をして頂きました。発生概要については以下の通りです。

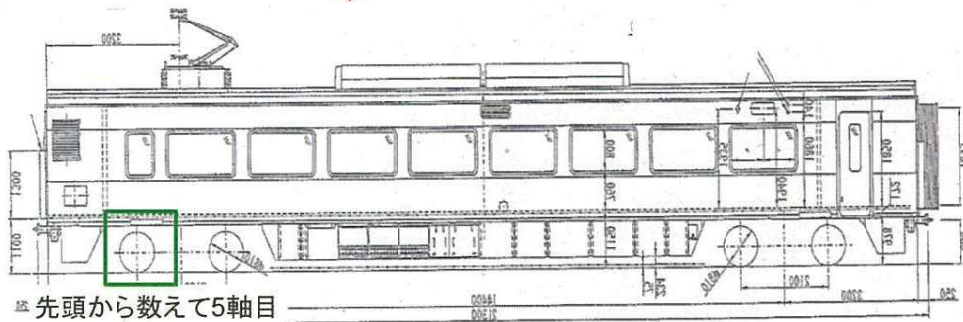
1. 発生日時 平成 27 年 4 月 3 日 17 時 15 分頃
2. 発生場所 津軽海峡線 知内信号場～津軽今別間
3. 列車名 特急スーパー白鳥 34 号 6 両編成 函館駅 15 時 56 分発 新青森行き
4. ご利用のお客様 124 名
2 名のお客様から気分が悪いという申告があり、救急車で病院へ搬送されています。
※乗務員等 5 名（運転士 1 名 車掌 2 名 車内販売員 2 名）
5. 推定原因 モーターに電気を送る配線（3 本）に過電流が流れ、配線の被膜が焦げて発煙したものと考えられますが、詳細は調査中です。
6. 発生概況
17 時 15 分頃 特急スーパー白鳥 34 号の車掌が、5 号車の窓の外に火花を確認したため、非常停止手配を行い、竜飛定点から青森駅方面に約 1. 2 km の位置に停車
運転士が各部点検を行い、発煙を発見し初期消火を実施
17 時 37 分 乗務員の誘導により、お客様が列車の降車を開始
17 時 50 分 列車からの降車が完了し、竜飛定点への避難を開始
18 時 20 分 お客様が全員、竜飛定点へ到着し誘導路に待機
18 時 49 分 消防が到着し、ケーブルカーで竜飛定点へ移動
18 時 50 分 お客様に誘導路から避難所へ移動していただき、地上へつながるケーブルカーに乗車していただく準備を開始
19 時 35 分 お客様をケーブルカーで地上部へ案内開始
19 時 55 分 最初にケーブルカーに乗車したお客様が地上部へ到着
地上部に到着したお客様には地上部の竜飛記念館で待機して頂く
22 時 04 分 1 台目のバスが青森市内へ向けて出発
22 時 59 分 お客様の地上部への案内を完了



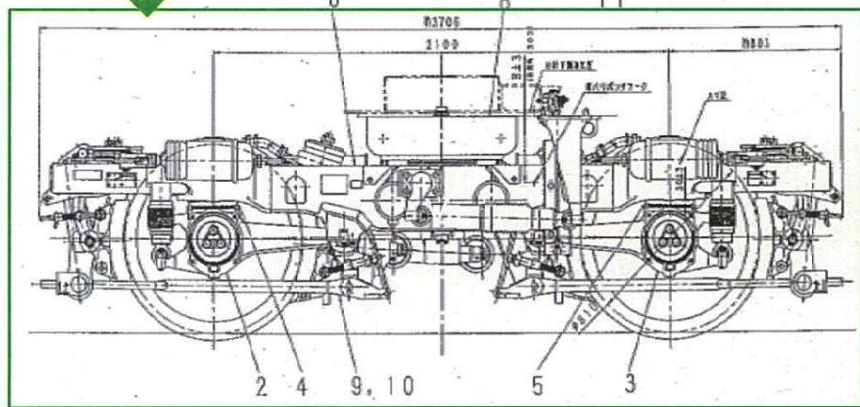
スーパー白鳥34号 5号車の車両状態



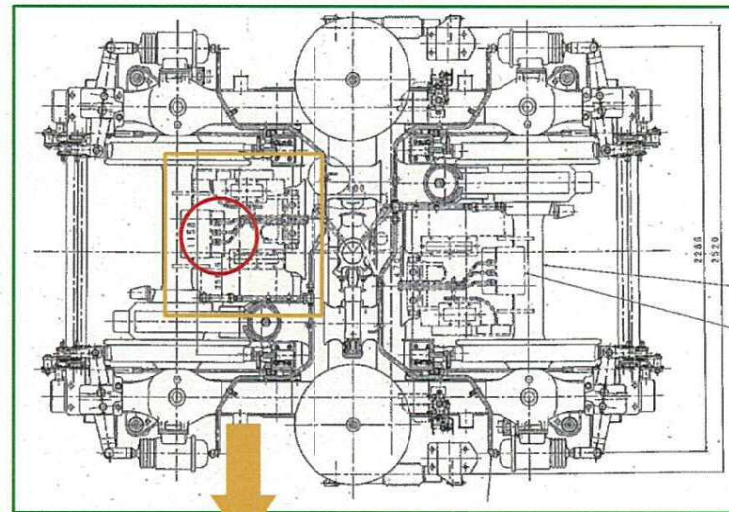
| 検 修 歴 | |
|-------|-------------|
| 新 製 | 2002年 9月17日 |
| 全般検査 | 2009年 2月20日 |
| 要部検査 | 2013年12月19日 |
| 交番検査 | 2015年 1月22日 |
| 仕業検査 | 2015年 4月 3日 |



車体外観図



台車組立図(正面)



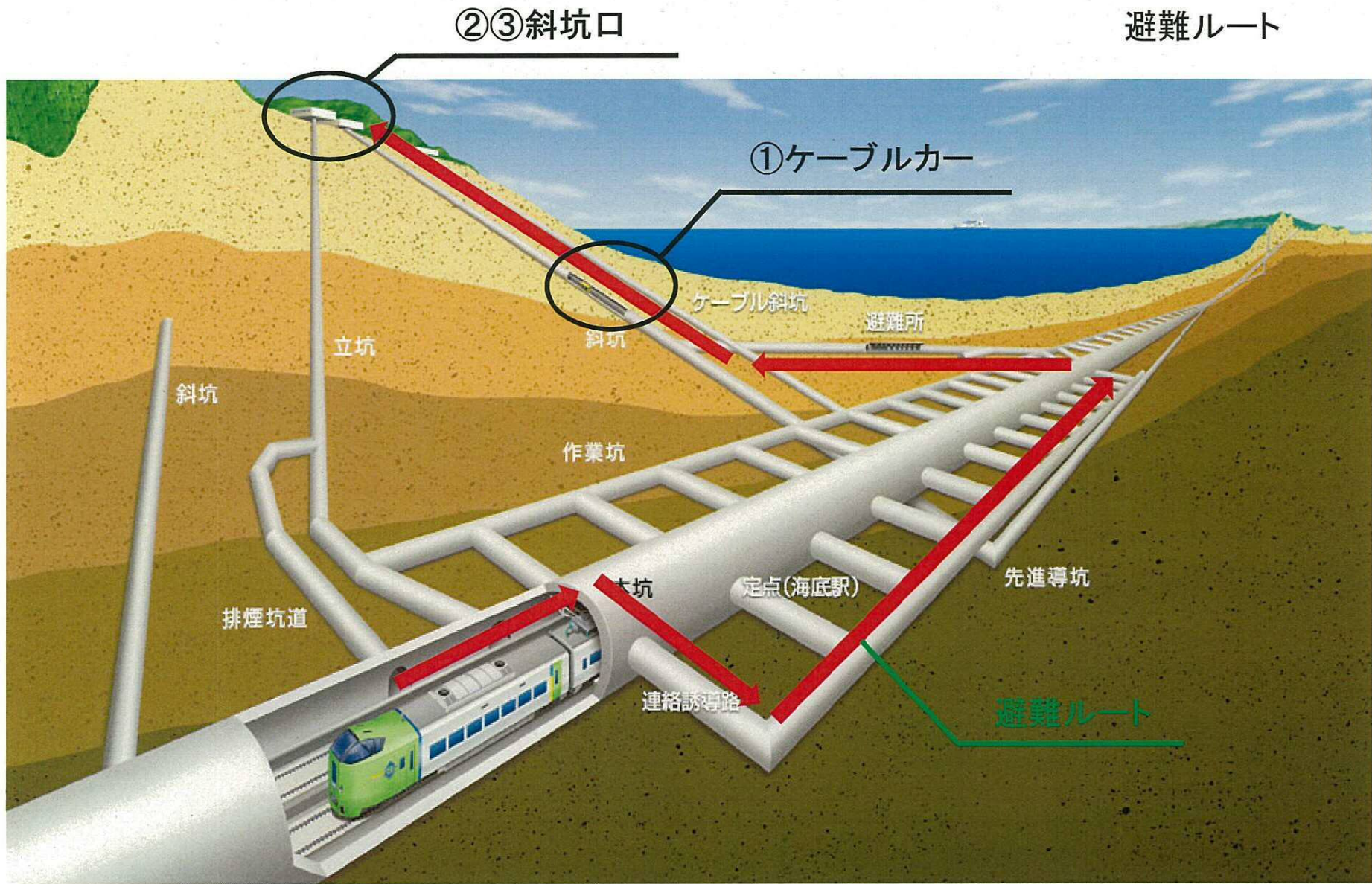
台車組立図(上面)



今回焦損したと思われる配線
(モータに電流を流す配線)

モータ外観

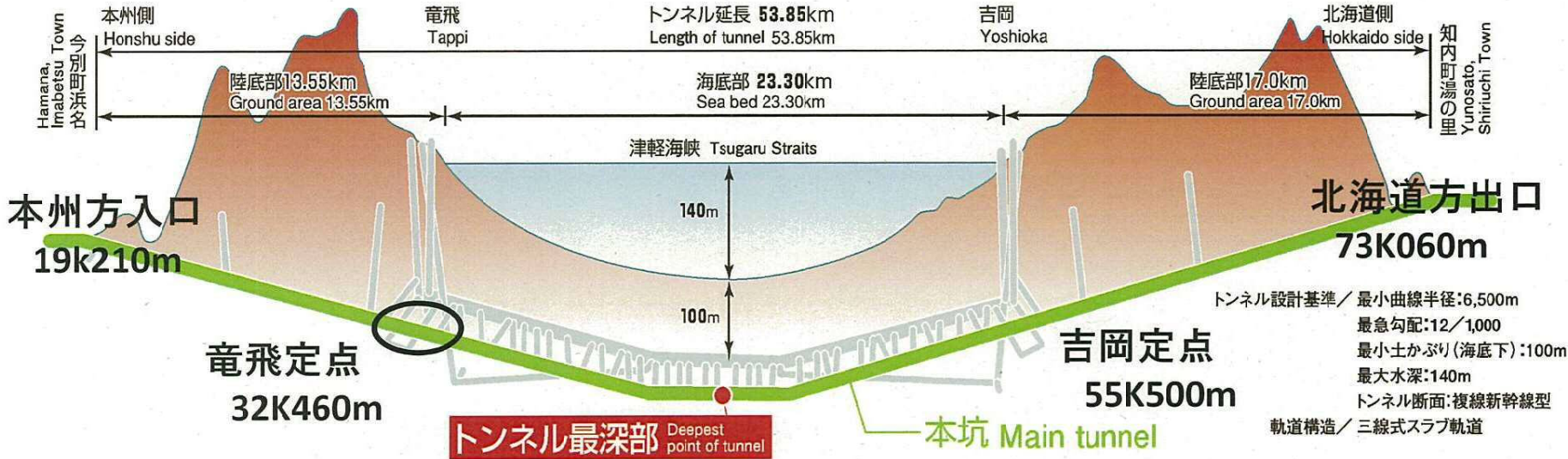
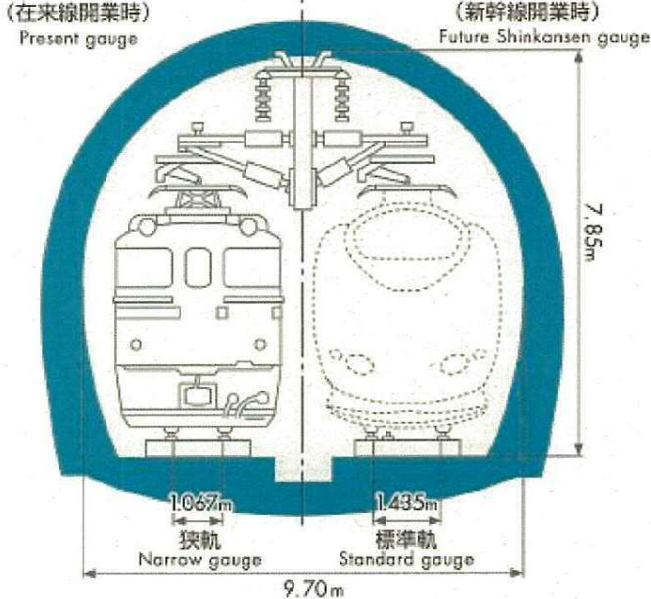
竜飛定点付近の列車火災検知装置では、先頭から5軸目付近で発熱を検知したが、比較的低温であったため、火災との判断ではなかった。



列車停止位置からケーブルカーまでの避難歩行距離は約2.4km

青函トンネルの構造

■トンネル断面図 Cross Section



ケーブルカー関係設備



①ケーブルカー



②斜坑口



③全景